

平成 20 年度宮前区区民会議

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会(第 7 回)

平成 21 年 3 月 3 日(火) 18 時～20 時

宮前区役所第 2 会議室

次 第

開 会

1 議 事

(1) 区民会議フォーラムについて

(2) 今後の議論の方向性について

2 その他

閉 会

配布資料

資料 1 平成 20 年度宮前区区民会議フォーラム分科会(宝さがし)の進め方
について(案)

資料 2 議論ペーパー

資料 3 具体的な課題解決策 検討資料

平成 20 年度宮前区区民会議フォーラム分科会(宝さがし)の進め方について(案)

1 分科会のテーマ

宮前区の宝・宮前区の顔に関する「夢」を語り合う

2 場所

大会議室を半分に分けて使用

3 時間

14:35 ~ 15:35(1 時間)

4 具体的な進行方法

(1) 役割分担

- ・ 司会・進行：高木部会長
- ・ 進行サポート：岩下研究員(CSK)

(2) 進め方

- ・ 長机を 3 つ用いてグループ分けする(1 テーブル 6 人まで)
- ・ グループには部会メンバーが 1 人以上入る。
- ・ グループごとに自己紹介(地域と名前だけ)(5 分)
- ・ 司会がお題を出し、お題ごとにグループ内で区民会議委員が中心となって各自がポ
ストイットに書いて模造紙に貼っていく(岩下研究員が巡回しながらサポート)(30
分)。最後にグループ内で話し合ってもらいグループごとに発表する(15 分)。

【お題】

- ・ あなたの地域の宝にはどんなものがありますか?(10 分)
 - ・ その宝を地域(中学校区単位ぐらい)で知ってもらうにはどうすればよいで
すか?(10 分)
 - ・ その宝を活用して宮前区をどんなまちにしたいですか?(10 分)
- ・ 最後に分科会で出た意見をまとめる(岩下研究員)(10 分)

以上は 30 人程度の参加を想定したケースであり、これより大幅に増減する場合には
臨機応変に手法を変更する必要がある。

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める、観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを採ることも重要だが、あるものを利用して新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみんなで宝物を探してもらえるような動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の二本立てで考えられたいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を体系的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。

目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。

◆宮前区に対する内外のイメージ

閑静で自然豊かな良好な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないか。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる

地域に愛着を持っている（終の棲家とする）

地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

◆地域社会にとって・・・

地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。

PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく知る必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

現状の資源の特徴を把握

課題解決策イメージ

資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス

宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

具体的な課題解決策（議論中）

◆地域で資源を発掘し共有化するための具体的な手法
→小さな地域単位で資源を宝に押し上げる

【これまでのキーワード】
中学校区単位で実施/学校単位で実施/町内会・自治会で実施/ウォーキング/マップづくり

◆小さな地域単位の宝を区全体の宝にするための具体的な手法
→区全体で宝に顔に押し上げる

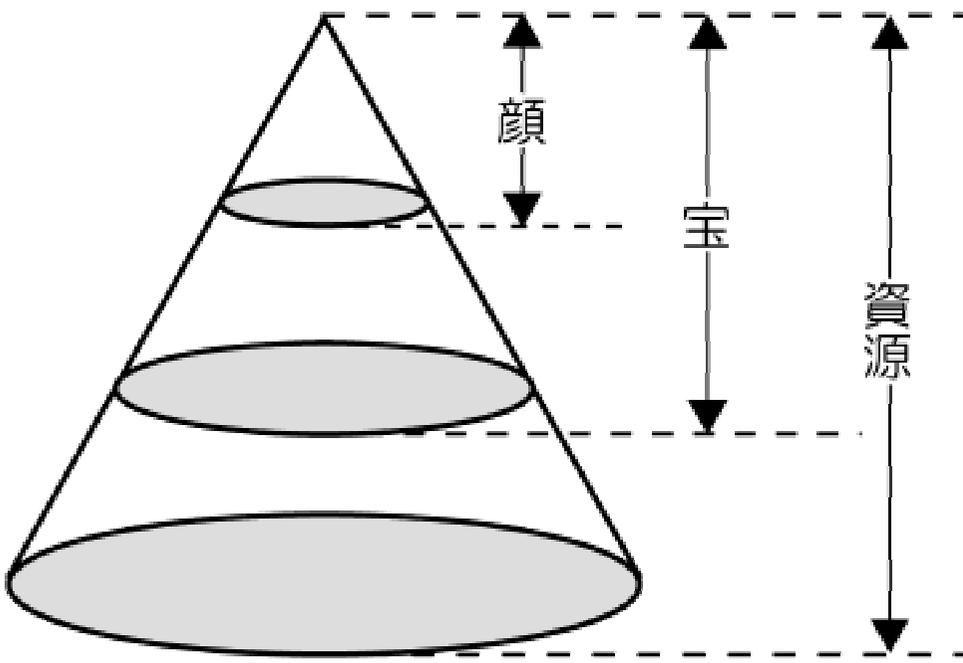
【これまでのキーワード】
区民祭の活用/地域対抗による発見した宝のコンペ大会

◆宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

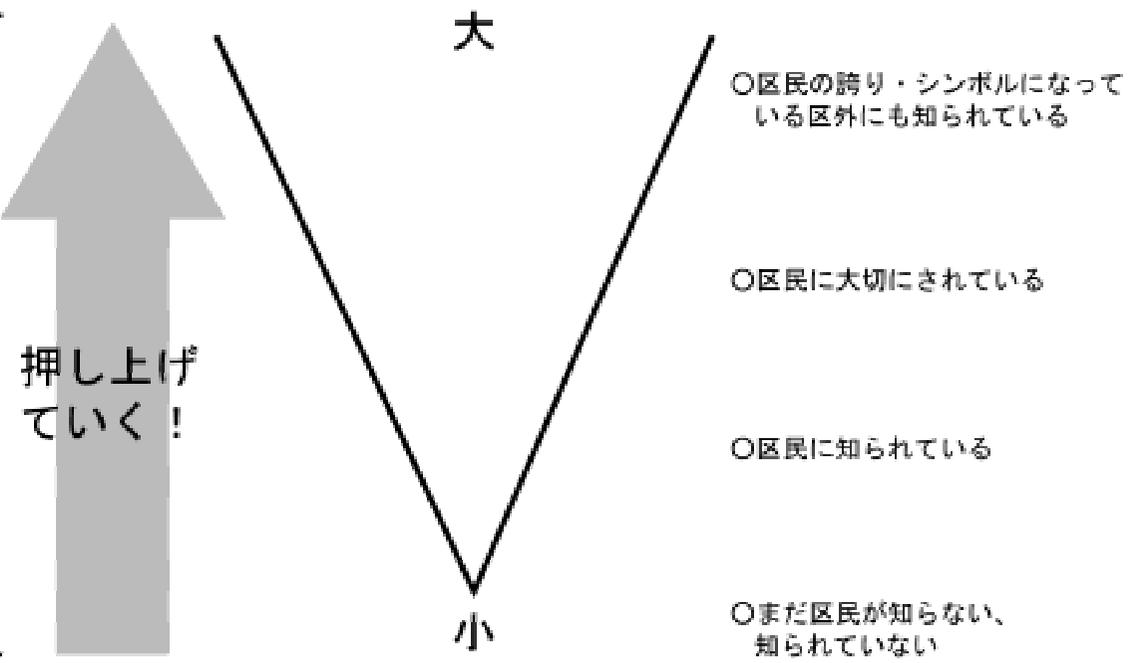
【これまでのキーワード】
マスコットキャラクター/観光大使の創設・活用

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 具体的な課題解決策 検討資料

【資源～宝物～顔の関係イメージ】



【共有の度合い】



【宝物の分類・・・宮前区案】

- 大分類→中分類の案
- | | |
|----------|---------------------|
| ①自然 | 風景・緑・水・生物・植物など |
| ②歴史文化 | 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など |
| ③くらし・産業 | 産物・農業・工業など |
| ④ふれあい・交流 | イベント・スポーツ・市民活動など |
| ⑤まち・施設 | 商店街・ランドマーク、建築物、施設など |
- 「楽しむ方法」として「みたい(見・観)・ききたい(聞・聴)」「買いたい・食べたい」「やってみたい」を加えてチェックする。